



卒業記念にジャカランダ植樹

3月2日（金）、小浜小学校6年生は、国道57号赤崎緑地帯でジャカランダを植樹しました。平成21年、「小浜温泉57」が始めた卒業記念植樹。児童が植えた木に花が咲き、街道を薄紫色に染めることでしょう。

▽ 植樹の感想

私は、植樹をして、もっと自然を大切にしようと思いました。ジャカランダを1本植えるのにも、思った以上にたくさんの手間がかかりました。土を掘った後、石をしいて、ジャカランダを置き、土をかぶせ、最後に水をまきます。植樹をした日は、少し気温が高かったこともあり、あせが出ている人が多かったです。これは、1本の木を植えるのが大変だったからでもありました。私は、植樹をして、自然の大切さを改めて、感じました。これから、その木の近くに行ったら、「どうなってるのかな。」と様子を見に行きたいと思います。

林田佳菜子

無事に、植樹を終えることができてよかったです。短い時間での作業だったけど、みんなで協力し合って取り組むことができたので、スムーズに行うことができました。ほく達の植えたジャカランダの木が、いつか大きくなって、きれいな花がさくと思うと、とてもわくわくします。今回木を植えたのは、よく通る道なので、見かけるたびに、楽しかった小学校生活を思いだすと思います。6年生みんなで、話しながら、楽しく植樹を行うことができて、とても思い出に残る植樹になったなと思いました。

草野 仁



植樹の手順を説明



苗木の下にボラ土を入れる



苗木の周り腐葉土を入れる



掘った土を埋め戻す



水遣りして植え付け完了



支柱で苗木を固定する



ジャカランダについて説明



ひまわりTVインタビュー

「ぐるっと一周島原半島」を日本風景街道に！ 祈りと幸せをつむぐ殉教・霊場巡礼街道

島原半島観世音三十三霊場巡り 十七番霊場 「北谷観音」 南島原市北有馬町田平名北谷



観音堂

北谷観音は、国道251号から約2.5kmの山手にある。市道から、54段の石段を上がると、平成16年、北谷地区35名の寄進で新築された御堂がある。左側に大きな鬼瓦がある。大正3年に建てられた時のものだ。



104年前の鬼瓦

観音堂歌めぐりは、十七番霊場子安観音とあるが、聖観世音菩薩が祀られています。御堂の周りには、薬師如来や数々の石仏があり、民人の信仰の深さを感じます。



聖観世音菩薩



石の中に祀られた薬師如来

観音堂歌めぐり (詠み人不詳)

十七番霊場 子安観音 江川谷観音堂 御佛の恵みもふかき 江川谷 末の代までも 栄ゆ民草

「道の安全調査」実施



山領入口バス停

2月13日(火)午後1時30分、山領入口バス停から登山口まで(約3km)清掃をしながら調査

「道の安全調査」は、第1回が平成19年、今回が6回目。これまで、歩道の新設(小浜高校バス停付近)、登山口交差点の改良、温泉街の舗装、国道のパラペット塗装など施工していただきましたが、右写真の北野地区は、側溝の上を歩いており、危険、歩道の整備が望まれます。



国道と県道(富津へ)交差点



サーロー節子さんとICANフィン事務局長 (授賞式にて)



オスロの街を松明パレード 矢印が宮田隆:千羽鶴を肩に掛け行進

(写真は TVニュースより)

ノーベル平和賞授賞式の「ノルウェー」歓びと怒りの旅

小浜温泉57 前代表 宮田隆

「核兵器は必要悪でなく、絶対悪だ。世界の政治家よ、この警告を心にとどめなさい」国際NGO「核兵器廃絶キャンペーン」(ICAN)のノーベル平和賞授賞式が昨年の12月10日ノルウェー・オスロの市庁舎で行われた。広島被爆でカナダ在住のサーロー節子さん(85歳)が授賞式で核兵器の非人道性を鬼気迫る勢いで演説した。パブリックビューイング会場は感動と熱気に満ちた。

昨年末このノーベル平和賞授賞式にノルウェーに出向いた。長崎で5歳時に被爆した者として、また先人たちの「核なき世界」実現に向けて命を懸けた平和活動に対する「ノーベル賞」を現地で実感したかった。零下10度のオスロの夜の街で平和を望む各国からの人々との松明パレード、そして平和交流被爆国日本政府の「核禁止条約」への冷やかな対応と米国追随外交に「怒りの旅」でもあった。

「小浜温泉57」の環境美化&まちづくりボランティア活動は 年会費1,000円で運営しています 活動にご参加いただける方と賛助会員を募っています ご協力をお願いします